



2020年6月5日

新しい働き方にチャレンジ！生産性評価制度の導入

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、2020年4月1日より、生産性評価制度を導入し、全ての社員が高いレベルの生産性のもとにお客さまへの価値創造業務に従事することで、伝統的な生命保険会社から脱却し、国民の健康を応援する「健康応援企業」への変革を加速していきます。

1. 制度導入の狙い

当社は、働き方改革、人事構造改革、業務変革などを通じて、リモートワーク、プレミアムフライデーなどの制度およびインフラの整備による社員の多様な働き方およびワーク・ライフ・バランスの向上を推進し、社員のチャレンジや成長を後押しすることで、お客さまへのサービス品質向上や新たな価値の提供のためのさらなる時間創出に取り組んでいます。

今回、生産性評価制度の導入により、既存の働き方にとらわれず、限られた時間の中でお客さまへのサービス品質向上や新たな価値提供の最大化に取り組む社員の取組みや努力（現場力）を評価していきます。

2. 制度の概要

①「生産性評価」項目の新設

2020年4月より人事評価に生産性目標の項目を新設し、全社員の「労働時間」と「生産性向上への取組み・プロセス」を評価します。例えば、同一の成果・パフォーマンスを発揮している場合は短い労働時間の社員を評価し、同一の労働時間であれば、成果・パフォーマンスを発揮している社員を高く評価します。

また、マネジメントの人事評価については、職場全体の生産性を評価します。

②「生産性加算給」導入

生産性目標を含めた人事評価が一定以上かつ役職が副長以上の対象者に対し2021年7月より「生産性加算給」を支給します。

3. 今後の展望

現在、新型コロナウイルス感染拡大を受け、多様な業務においてリモートワーク、時差出勤を標準とした「新しい生活様式」に適した「新しい働き方」に変化しています。今後もインフラの整備や各種制度の拡充を進め、更なるリモートワークの推進・業務モデルの変革など「新しい働き方」に向けてより生産性を高めていきます。

生産性評価制度により全社員の生産性向上を促進し、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供することで、社会に貢献してまいります。

以上